

# 高格付債券ファンド（為替ヘッジ70）資産成長型 ＜愛称「73（しちさん）資産成長型」＞

追加型投信／内外／債券

## 交付運用報告書

第7期（決算日2020年1月10日）

作成対象期間（2019年1月11日～2020年1月10日）

第7期末（2020年1月10日）	
基準価額	11,193円
純資産総額	215百万円
第7期	
騰落率	4.2%
分配金（税込み）合計	10円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「高格付債券ファンド（為替ヘッジ70）資産成長型」は、2020年1月10日に第7期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

<641960>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

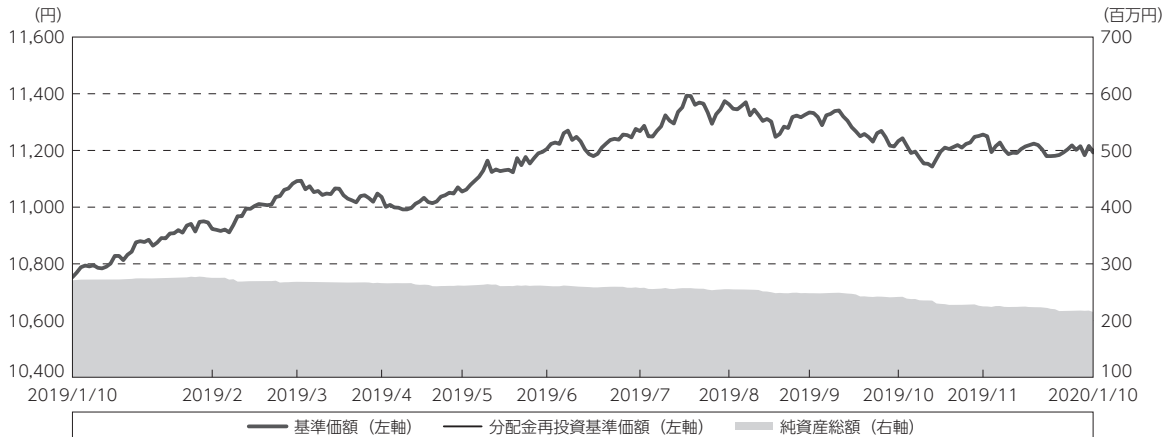
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2019年1月11日～2020年1月10日）



期首：10,753円

期末：11,193円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：4.2%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2019年1月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。  
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、純資産の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減をめざしております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

### <値上がり要因>

- ・投資対象である2つの投資信託証券それぞれにおいて、投資している債券からインカム収入を得たこと。
- ・投資対象である「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」において、投資対象各国の国債利回りが総じて低下（債券価格は上昇）したこと。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」において、投資対象国（アメリカ、ニュージーランド、カナダ、ノルウェー）の国債利回りが期間の初めと比べて低下したこと。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」において、投資対象国（アメリカ、カナダ）の通貨が対円で上昇したこと。

## ＜値下がり要因＞

- ・投資対象である「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」において、為替ヘッジに伴う費用を支払ったこと。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」において、投資対象国（イギリス）の国債利回りが期間の初めと比べて上昇（債券価格は下落）したこと（2019年10月～期間末）。
- ・投資対象である「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」において、投資対象国（ニュージーランド、ノルウェー）の通貨が対円で下落したこと。

## 1万口当たりの費用明細

（2019年1月11日～2020年1月10日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	92	0.825	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 33)	(0.297)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 55)	(0.495)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（ 受 託 会 社 ）	( 4)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	0	0.001	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 先 物 ・ オ プ シ ョ ン ）	( 0)	(0.001)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用	12	0.108	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 費 用 ）	( 11)	(0.096)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	104	0.934	
期中の平均基準価額は、11,152円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

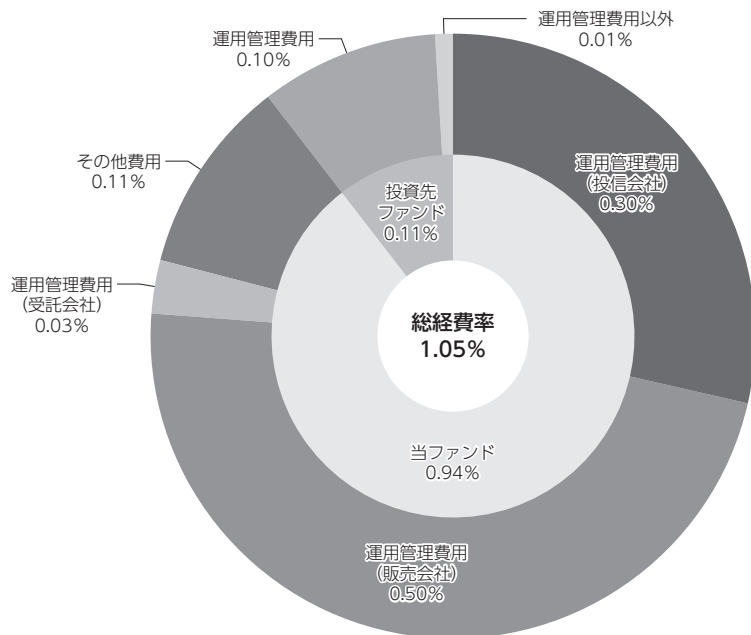
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## （参考情報）

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.05%です。



(単位: %)

総経費率(①+②+③)	1.05
①当ファンドの費用の比率	0.94
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.10
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

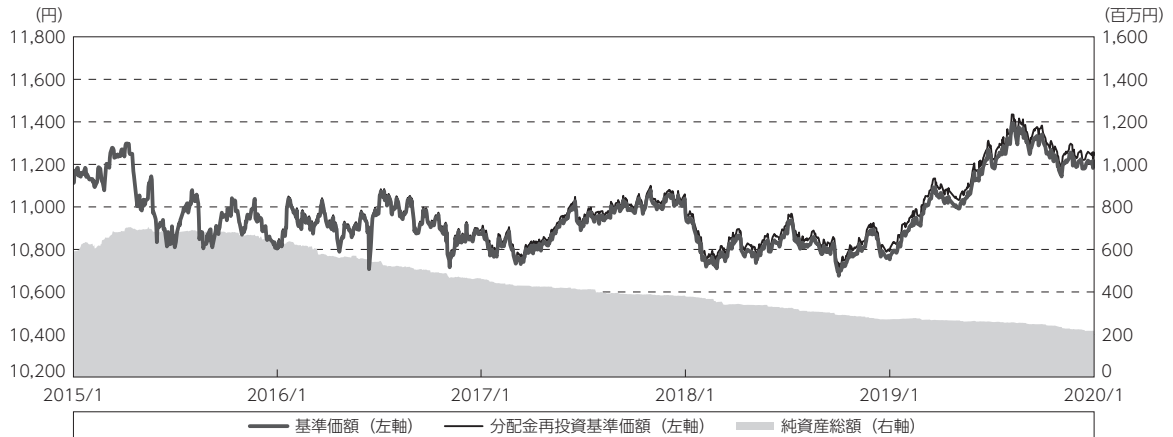
(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

（2015年1月13日～2020年1月10日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2015年1月13日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2015年1月13日 決算日	2016年1月12日 決算日	2017年1月10日 決算日	2018年1月10日 決算日	2019年1月10日 決算日	2020年1月10日 決算日
基準価額 (円)	11,112	10,804	10,872	10,973	10,753	11,193
期間分配金合計(税込み) (円)	—	10	10	10	10	10
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.7	0.7	1.0	△ 1.9	4.2
純資産総額 (百万円)	586	633	463	379	271	215

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

（2019年1月11日～2020年1月10日）

## 〔ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド〕投資対象国の債券市況

当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りが期間の初めと比べて総じて低下しました。

期間の初めから2019年3月下旬にかけては、欧州委員会がユーロ圏全体やドイツ、イタリアなどの経済成長見通しを下方修正したこと、米国連邦準備制度理事会（FRB）および欧州中央銀行（ECB）が今後の政策金利について、2019年内は据え置くとの見通しを示したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。4月上旬から8月下旬にかけては、米中の底堅い経済指標などから米国や中国の景気に対する先行き懸念が後退したことや、米中間の貿易交渉進展への楽観的な見方が広がったことなどが利回りの上昇要因となったものの、その後、貿易や通貨政策を巡る米国と中国との間の関係悪化から市場がリスク回避志向を強めるなか、ドイツおよび中国の経済指標が軟調となり、世界経済の下振れリスクが意識されたことなどから、各国の10年国債利回りは総じて低下しました。9月上旬から期間末にかけては、FRBおよびECB、オーストラリア準備銀行（RBA）による政策金利の引き下げなどが利回りの低下要因となったものの、英国の欧州連合（EU）離脱を巡り、離脱協定の修正案や離脱期限の延期について英国とEUが合意に至ったことや、米中両政府が部分的な通商合意に至り、世界経済の先行き不透明感が後退したこと、スウェーデンの中央銀行が政策金利の引き上げを決定したことなどを背景に、各国の10年国債利回りは総じて上昇しました。

## 〔高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）〕投資対象国の債券市況

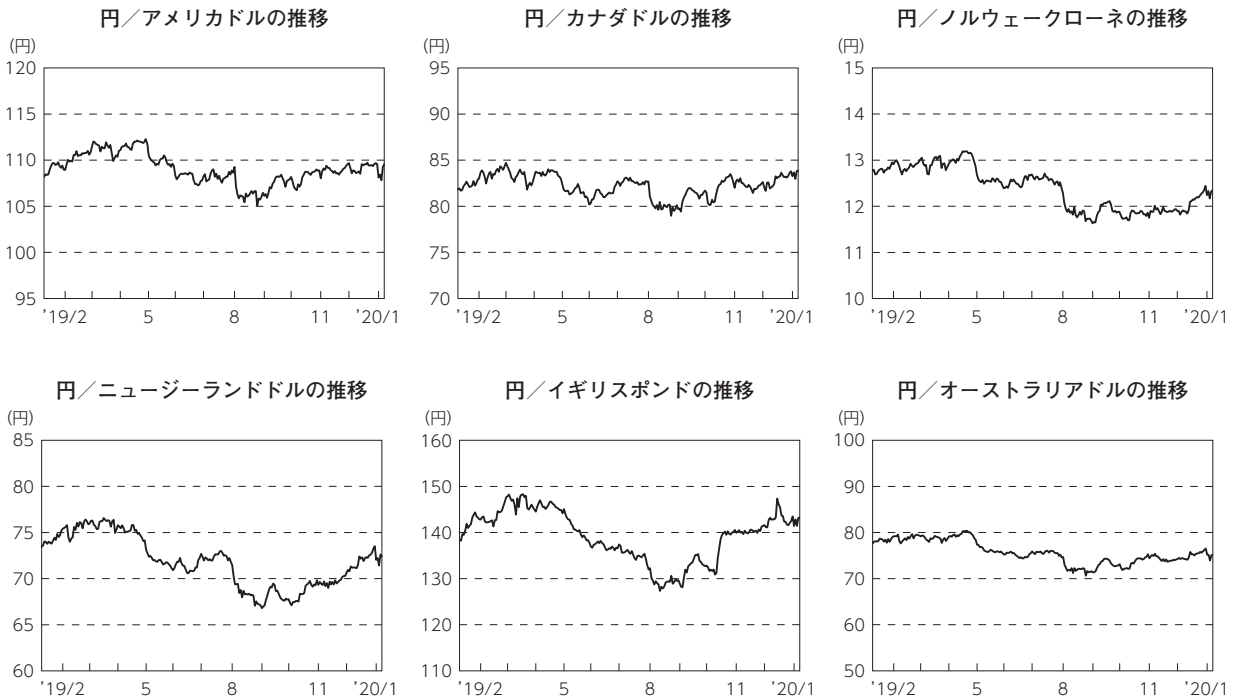
当ファンドが投資対象国とした債券市場では、10年国債利回りが期間の初めと比べて概して低下しました。

期間の前半は、保護主義的政策の強まりが引き続き世界的な環境の変化を招き、世界経済の減速懸念が資産価格を大きく左右するようになるなか、複数の中央銀行は今後の金利見通しについて慎重な見方を強めました。さらに、市場参加者の間で地政学的環境や世界の経済成長、インフレ期待の後退に関するリスクが見直され、主要中央銀行の中でもFRB、ECB、RBAを中心として先進国の中央銀行が以前の見通し通りに利上げを実行できるか疑問視されるようになると、世界的に債券市場が大幅に上昇しました。

期間の後半は、香港における抗議デモの長期化、英国の合意なきEU離脱リスクの高まり、米中貿易問題の継続など、世界経済にとっての逆風が引き続き強まったことを受けて、投資家の間でリスク回避姿勢が強まりました。米中間の貿易を巡る対立が再び激化するなか、米国のトランプ大統領は2019年8月、電子機器や玩具などの消費者向け製品を含め、さらに3,000億ドル相当の中国からの輸入品に10%の追加関税を課すことを発表しました。その後中国が、米国から輸入する石油製品への5%の追加関税を含め、750億ドル相当の米国製品への報復関税の賦課を発表すると、トランプ大統領は対抗措置として、追加関税を発動済みおよび発動予定の全品目を対象に関税をさらに5%引き上げると発表しました。米中間の関税合戦の激化は世界の情勢を変化させ、外需の悪化を背景とした世界的な景気減速懸念が資産価格に大きな影響を及ぼすようになると、複数の中央銀行が金利見通しについてハト派（景気に対して弱気）的な見方を強めました。そうしたなか、FRB、ECB、RBA、ニュージーランド準備銀行（RBNZ）などは、それぞれ鈍化している国内の経済活動をさらに下支えするべく、金融緩和の実施を決定しました。対照的に、ノルウェーの中央銀行は、経済活動が引き続き好調に推移していることなどから、期間中に政策金利を三度引き上げました。

（為替市況）

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2019年1月11日～2020年1月10日)

（当ファンド）

当ファンドは、「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を70%程度、「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券を30%程度組み入れることで、実質的に純資産総額の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ないつつ、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

（ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド）

投資対象国は、為替ヘッジ後の金利水準、市場の流動性、財政赤字の状況などを考慮して決定しました。期間の初めは、ベルギー、フランス、イギリス、スウェーデン、アメリカの5カ国へ投資を行ないました。2019年1月に、フランスおよびベルギーの投資比率を拡大し、その他3カ国については、イギリスを中心に若干縮小させました。4月から6月にかけては、欧州域内の景気モメンタムの弱さや、ECBの緩和的な金融スタンスの強さから、引き続きフランスおよびベルギーの投資比率を高水準に維

持しましたが、世界的な金利低下時への感応度の高さも考慮して、6月に両国の比率を若干縮小し、イギリスおよびアメリカの比率を拡大させました。8月に、債券利回りの水準の低さや、ベルギーとの利回りの連動の強さからフランスを非保有としました。一方、住宅市場の減速感の強まりや、中国経済減速の影響を受けやすいことからオーストラリアを新規に組み入れました。各国の投資比率は、ヘッジ後の利回り水準が相対的に低いことや、相対的に良好なファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を考慮してアメリカおよびイギリスの比率を縮小しました。その後、期間末まで引き続き、欧州域内の景気モメンタムの弱さや、ECBの緩和的な金融スタンスの強さから、ベルギーの投資比率を高水準に維持しました。また、12月には景況感の良好なアメリカの比率を削減し、金融緩和期待の強いオーストラリアの投資比率を拡大しました。2020年1月には合意なきEU離脱の可能性がほぼなくなったことから、利回りの低下の可能性が限定的となったと考え、円ヘッジ後の利回り水準を考慮し、イギリスを非保有としフランスを組み入れました。

全体のデュレーション（金利感応度）については、2019年2月上旬にアメリカを若干短期化しましたが、徐々に長期化し月末時点では前月末とほぼ同水準としました。3月は、債券利回りが大幅に低下したことから、全体のデュレーションを前月末比で若干短期化しました。4月から期間末にかけては、ほぼ同水準とし、全体のデュレーションを安定的に推移させました。

その結果、期間末時点での投資対象国は、アメリカ、ベルギー、フランス、スウェーデン、オーストラリアの5カ国となりました。

また、運用方針に従って、すべての外貨建資産について為替ヘッジを行ないました。

#### （高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け））

期間中、オーストラリアを売却する一方でイギリスの買付けを行ないました。期間末の投資対象国（通貨ベース）はアメリカ、カナダ、ノルウェー、ニュージーランド、イギリスの5カ国となりました。

ポートフォリオ全体のデュレーションに関しては、国ごとのデュレーションを調整し、リターンを最大化に努めました。

#### 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年1月11日～2020年1月10日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。



**分配金**

（2019年1月11日～2020年1月10日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充たなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第7期
	2019年1月11日～ 2020年1月10日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.089%
当期の収益	10
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	2,061

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****（当ファンド）**

引き続き、「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券を70%程度、「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券を30%程度組み入れ、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なう方針です。

**（ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド）**

引き続き、現在投資を行なっているアメリカ、ベルギー、スウェーデン、フランス、オーストラリアの5カ国への投資を継続することを検討します。

ポートフォリオ全体のデュレーションは現状程度に維持することを検討しますが、市場環境を考慮して機動的に変更する方針です。外貨建資産については為替ヘッジを行なうことにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

**（高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け））**

原則として、金利水準や各国のファンダメンタルズを考慮して投資を行なう方針です。債券市況、為替市況、各国のファンダメンタルズなどの変化にあわせ、投資比率並びに投資対象国（通貨ベース）およびポートフォリオのデュレーションの変更を柔軟に検討する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

## お知らせ

2019年1月11日から2020年1月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

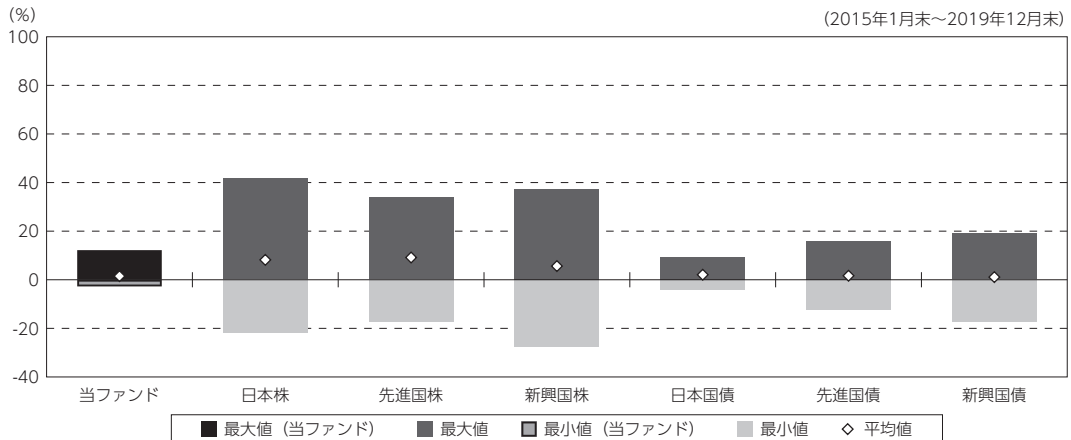
当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年4月11日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。（第50条、第50条の2）

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2013年3月25日から2028年1月11日までです。
運用方針	主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券に投資を行なう投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド」受益証券 「高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、日本を含む世界の高格付ソブリン債券を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。原則として、純資産の70%程度に対して対円で為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減をめざします。
分配方針	毎決算時に、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	12.2	41.9	34.1	37.2	9.3	15.9	19.3
最小値	△ 2.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	1.5	8.2	9.2	5.6	2.1	1.7	1.1

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2015年1月から2019年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX、配当込）

先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。●NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ヘッジなし、円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2020年1月10日現在）

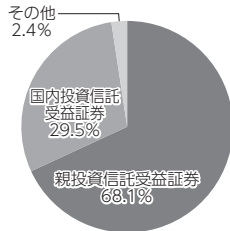
#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第7期末
	%
ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド	68.1
高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）	29.5
組入銘柄数	2銘柄

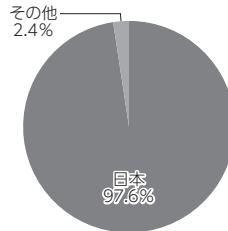
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

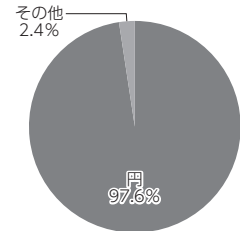
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

### 純資産等

項目	第7期末
	2020年1月10日
純資産総額	215,182,296円
受益権総口数	192,242,845口
1万口当たり基準価額	11,193円

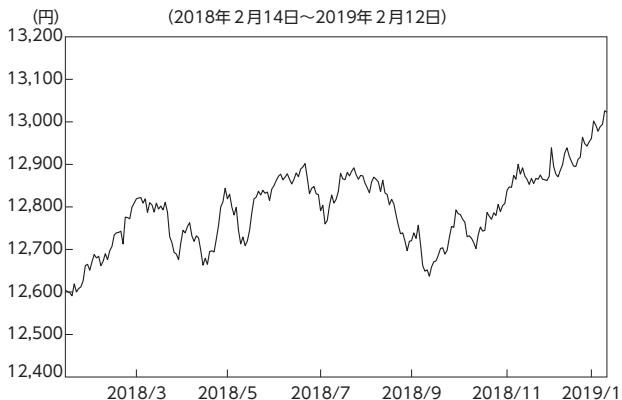
（注）期中における追加設定元本額は13,321,383円、同解約元本額は73,110,211円です。

## 組入上位ファンドの概要

### ソブリン（円ヘッジ）マザーファンド

【基準価額の推移】

(2018年2月14日～2019年2月12日)



【1万口当たりの費用明細】

(2018年2月14日～2019年2月12日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	1 (1)	0.007 (0.007)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)	0.013 (0.013) (0.000)
合計	3	0.020

期中の平均基準価額は、12,806円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年2月12日現在)

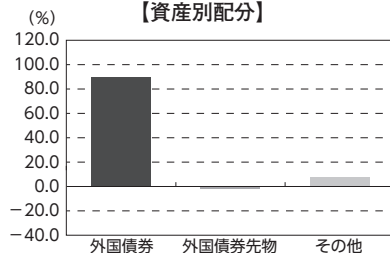
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	BELGIUM KINGDOM 4.5% 2026/3/28	国債証券	ユーロ	ベルギー	10.6
2	BELGIUM KINGDOM 0.8% 2028/6/22	国債証券	ユーロ	ベルギー	7.9
3	FRANCE (GOVT OF) 2.75% 2027/10/25	国債証券	ユーロ	フランス	5.8
4	BELGIUM KINGDOM 5.5% 2028/3/28	国債証券	ユーロ	ベルギー	5.0
5	FRANCE (GOVT OF) 0.75% 2028/5/25	国債証券	ユーロ	フランス	4.9
6	EUROPEAN INVESTMENT BANK 3.75% 2032/6/1	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	4.5
7	FRANCE (GOVT OF) 0.75% 2028/11/25	国債証券	ユーロ	フランス	4.1
8	UK TREASURY 4.25% 2027/12/7	国債証券	イギリスポンド	イギリス	3.9
9	FRANCE (GOVT OF) 3.5% 2026/4/25	国債証券	ユーロ	フランス	3.8
10	EUROPEAN INVESTMENT BANK 1.75% 2026/11/12	特殊債券	スウェーデンクローナ	国際機関	3.8
	組入銘柄数			38銘柄	

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

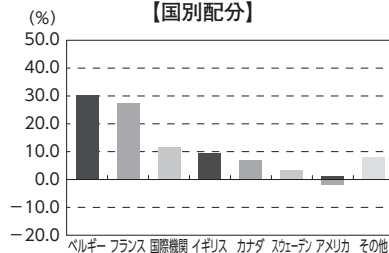
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

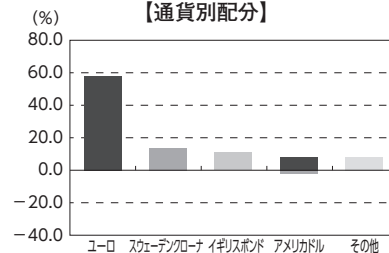
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

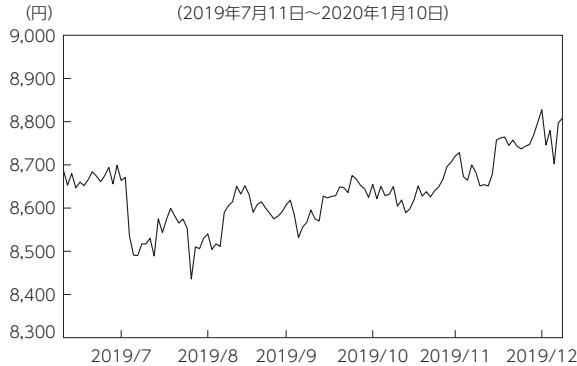
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。

高金利先進国ソブリン債券ファンド（適格機関投資家向け）

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万円当たりの費用明細】

(2019年7月11日～2020年1月10日)

項 目	第77期～第82期	
	金 額	比 率
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	15 (14) (-) ( 1)	0.177 (0.166) ( - ) (0.011)
(b) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 1) ( 0) ( 0) ( 0)	0.010 (0.007) (0.001) (0.002) (0.000)
合 計	16	0.187

作成期間の平均基準価額は、8,580円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。  
 (注) 作成期間の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
 (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位ファンド】

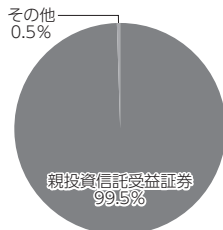
(2020年1月10日現在)

銘 柄 名	第82期末
高金利先進国債券マザーファンド	%
組入銘柄数	1銘柄

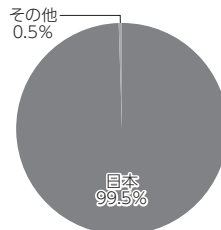
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

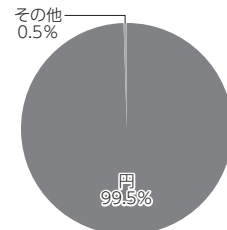
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



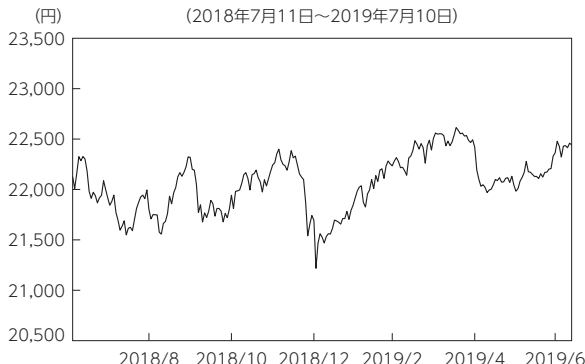
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜ご参考＞ 高金利先進国債券マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2018年7月11日～2019年7月10日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用	3	0.014
（ 保 管 費 用 ）	(3)	(0.014)
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)
合 計	3	0.014

期中の平均基準価額は、22,106円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2019年7月10日現在)

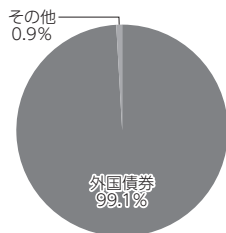
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 ( 地 域 )	比 率
					%
1	US TREASURY N/B 1.625% 2020/3/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	7.1
2	US TREASURY N/B 2.25% 2020/3/31	国債証券	アメリカドル	アメリカ	6.7
3	NORWEGIAN GOVERNMENT 2% 2023/5/24	国債証券	ノルウェークロネ	ノルウェー	3.4
4	NEW ZEALAND GOVERNMENT 3.5% 2033/4/14	国債証券	ニュージーランドドル	ニュージーランド	3.1
5	KOMMUNALBANKEN AS 1.5% 2022/4/19	特殊債券	ノルウェークロネ	ノルウェー	2.8
6	US TREASURY N/B 3% 2048/8/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	2.6
7	TSY INFL 1X N/B 0.125% 2022/4/15	国債証券	アメリカドル	アメリカ	2.4
8	NORWEGIAN GOVERNMENT 2% 2028/4/26	国債証券	ノルウェークロネ	ノルウェー	2.4
9	INTL FINANCE CORP 3.625% 2020/5/20	特殊債券	ニュージーランドドル	国際機関	2.2
10	NORWEGIAN GOVERNMENT 1.75% 2027/2/17	国債証券	ノルウェークロネ	ノルウェー	2.2
	組入銘柄数		80銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

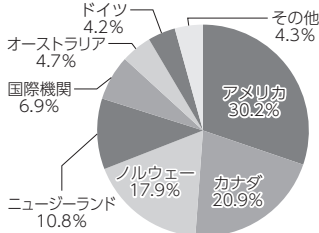
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

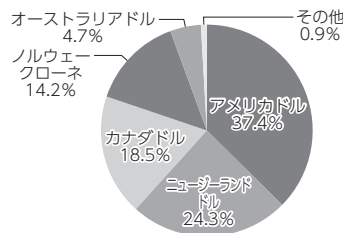
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。